

【事業者名】

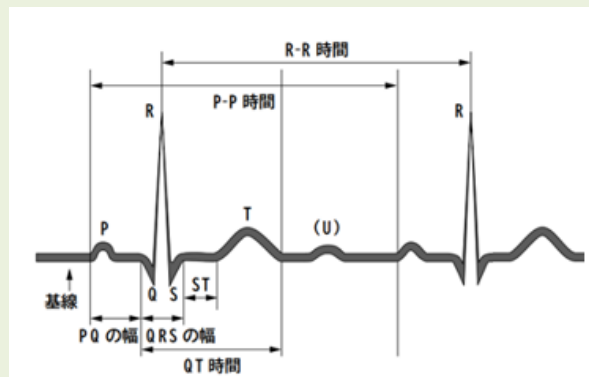
株式会社カルディオインテリジェンス

【ビジネスプラン名】

医薬品による副作用マネジメントのための長時間心電計用QT間隔解析AIの開発・事業化

【内容】抗不整脈薬や抗精神病薬、抗がん剤等の副作用として、心筋の興奮異常である薬剤性QT延長症候群があり、突然死の要因となることもある。QT時間は1日の中で変化することがあるため、従来の短時間の心電図検査ではQT延長を見逃すリスクが高い。一方、長時間心電図検査の実施により発見率は上がると考えられるが、心電図波形の解析に時間を要する。長時間心電計用のQT間隔解析AIを開発し、QT延長を見逃すことなく、副作用を考慮した適切な薬剤投与量に調整できるようにする。

基本の心電図波形



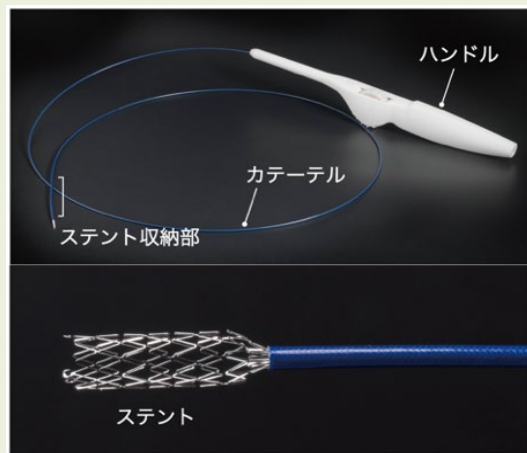
【事業者名】

Global Medical株式会社

【ビジネスプラン名】

細径動脈硬化性病変を長期に開存維持するハイブリッドナノコーティングステントの開発

【内容】動脈硬化病変の一つである下肢動脈硬化症に対するカテーテル治療のステント（金属の金網状の筒）留置術は血流改善のため一般的であるが、治療後に血中細胞の凝集体（血栓）の付着などにより再度ステント内が詰まる問題がある。こうした課題に対し、細径血管でも血栓が付着しづらく、正常な血管への修復を早期に促すような特殊なナノコーティングと薬剤を組み合わせた独自デザインのステントを開発している。日米同時で治験を実施するための研究開発を進めており、世界中の患者への使用を目指す。



プロトタイプ品

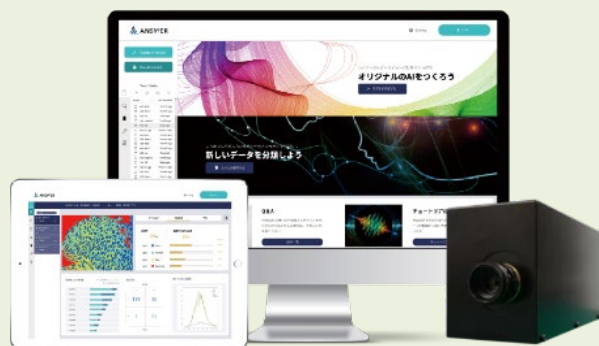
【事業者名】

Milk.株式会社

【ビジネスプラン名】

ハイパースペクトル画像を活用した新たな病理診断支援システムの開発

【内容】がんの最終診断である病理診断を支える病理専門医の人数は、増加するがん患者に対して圧倒的に不足している。また診断知見も個人に依存することから、育成以外の方法での対策が中長期的に求められる。そこで、人の目を超えた高精度な分光情報を有するハイパースペクトルカメラで撮影したがん細胞画像をAIで分析する病理診断支援システムを開発し、病理医不足の解決およびがんの早期発見、診断精度向上を実現する。



ANSWERデモイメージ
(TOPイメージとレポート画面)

ハイパースペクトルカメラ